

豊浦町人口ビジョン 及び総合戦略

概要版

平成 27 年 10 月

令和2年1月改訂

令和3年3月改訂

令和4年3月改訂

豊浦町

1. 豊浦町総合戦略の目的

豊浦町総合戦略は、全国的に人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢の中、本町が安定した人口構造を保持し、若い世代を中心に、将来にわたって町民が安心して働き、希望に応じた結婚・出産・子育て及び老後の生活ができる地域社会を構築することを目的とし、本町の持つ「強み」を活かすと共に、本町の「弱み」を克服して、本町が持続的に活性化していくため、目指すまちの姿やまちづくりにおける基本的な目標を示し、中期的に取り組むべき施策の基本的方向、具体的な施策をとりまとめたものです。

2. 豊浦町総合戦略の位置づけ

豊浦町の多様な資源を活用しながら、重点的・横断的な取り組みを進めることが重要であり、平成30年度からの第6次豊浦町総合計画と同等の計画として、本総合戦略を位置づけます。

3. 豊浦町総合戦略の対象期間

平成27年度から令和4年度までの8年間とします。

4. 豊浦町の人口等の現状分析

4.1 人口の推移

豊浦町の人口は、2013年3月末で4,305人（住民基本台帳）となっています。1960年の時点では10,439人であり、50年間の人口減少により、現状は1960年の約45%となっています。

特に、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）の減少が顕著であり、老年人口（65歳以上）のみ増加傾向となっています。

老年人口は、1960年の時点で20人に1人、であったのに対し、2010年の時点では3人に1人となっています。

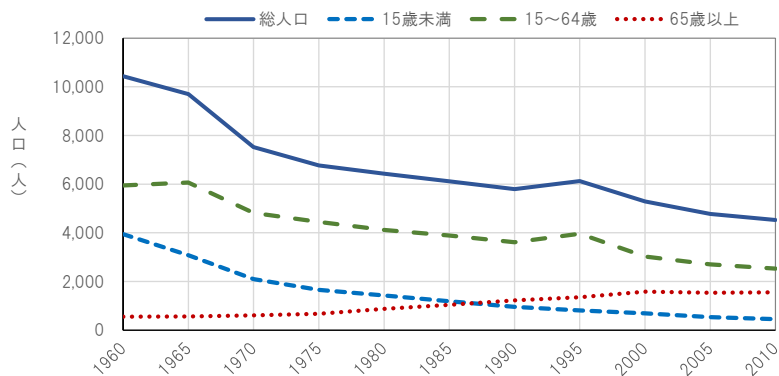
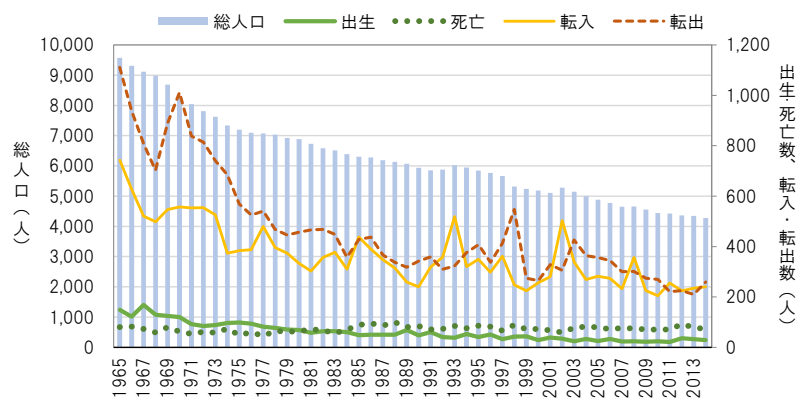


図 豊浦町の人口の推移 〈資料〉国勢調査



〈資料〉豊浦町統計書

4.2 社会動態

(1) 社会動態及び人口移動先

豊浦町の社会動態（転入－転出）の状況を見てみると、伊達市及び札幌市との間での転出入が多く見られます。

(2) 豊浦町の産業

豊浦町の各産業の就業者比率を、全国の当該値で割り、どれだけ就業者数が全国平均と比べて特化しているかを示す「特化係数」について見てみると、豊浦町では、「農業」「漁業」の割合が高くなっています。

ただし、産業別の就業者年齢構成比率を見ると、豊浦町の主要産業である「農業」「漁業」の2産業は、60歳以上が30%を超え高齢化が進んでおり、また、「製造業」「運輸業、郵便業」「生活関連サービス業、娯楽業」も同様の結果となっています。一方、「教育、学習支援業」「医療、福祉」「複合サービス事業」は、40歳未満が40%程度となっています。



図 2013年の社会動態図〈資料〉住民基本台帳

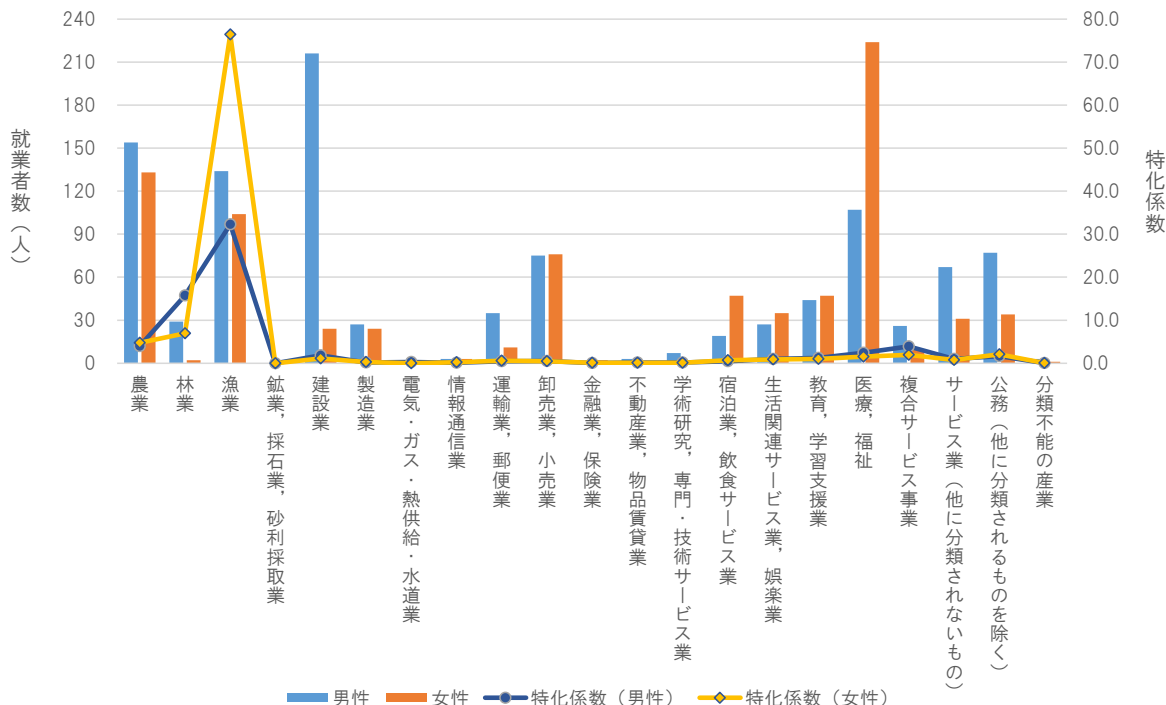


図 男女別・産業別就業者数と特化係数（全国比）

〈資料〉平成22年国勢調査

（特化係数＝豊浦町のX産業の就業者比率/全国のX産業の就業者比率）

4.3 人口動態及び合計特殊出生率の推移

人口を維持していくための出生数の目安として合計特殊出生率=2.07、全国における希望出生数として合計特殊出生率=1.80という数値が挙げられていますが、豊浦町では、子育て世代への補助制度を開始した時期である、2012年に最高値1.80となっています。

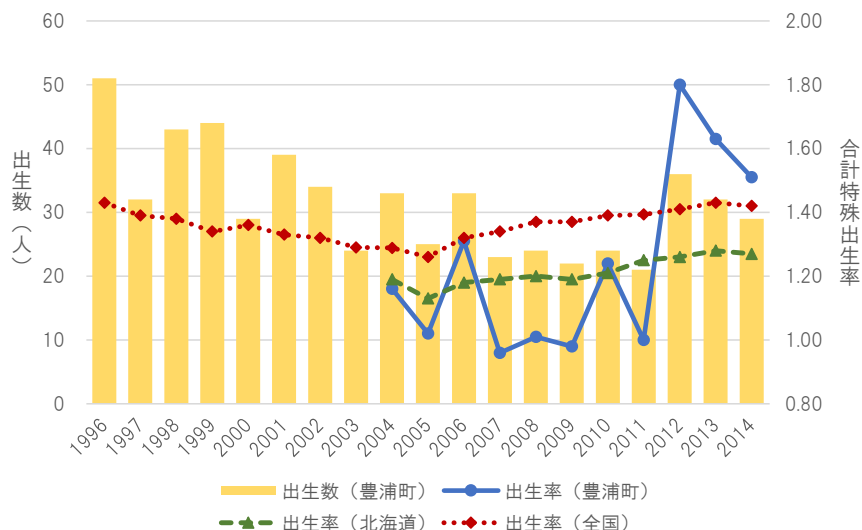


図 豊浦町の出生数と合計特殊出生率の推移

4.4 町民アンケート分析

〔資料〕豊浦町調べ及び北海道保健統計年報、政府統計人口動態調査

豊浦町では、人口ビジョン及び総合戦略の策定に際し、「豊浦町地方創生・総合戦略に関するアンケート調査」を実施しました。

アンケート対象として、20歳以上の町民、20～30歳代の子育て世代、高校生、小学5年生～中学生の4種を実施し、幅広い年齢層から、豊浦町の住み良さや施策の重要性、子育て環境に関するご意見をいただき、町の「強み」「弱み」を以下のとおり分析しました。

① 豊浦町の強み

- 約80%が豊浦町を住み良い環境であると感じ、かつ約70%が豊浦町に住み続けたいと考えており、豊浦町に対し、住環境として魅力を感じている。
- 住み良い理由として、豊浦町の豊かな自然環境のほか、主力産業である漁業の基盤整備や、医療・福祉体制に対する行政対応が良いことも挙げられる。

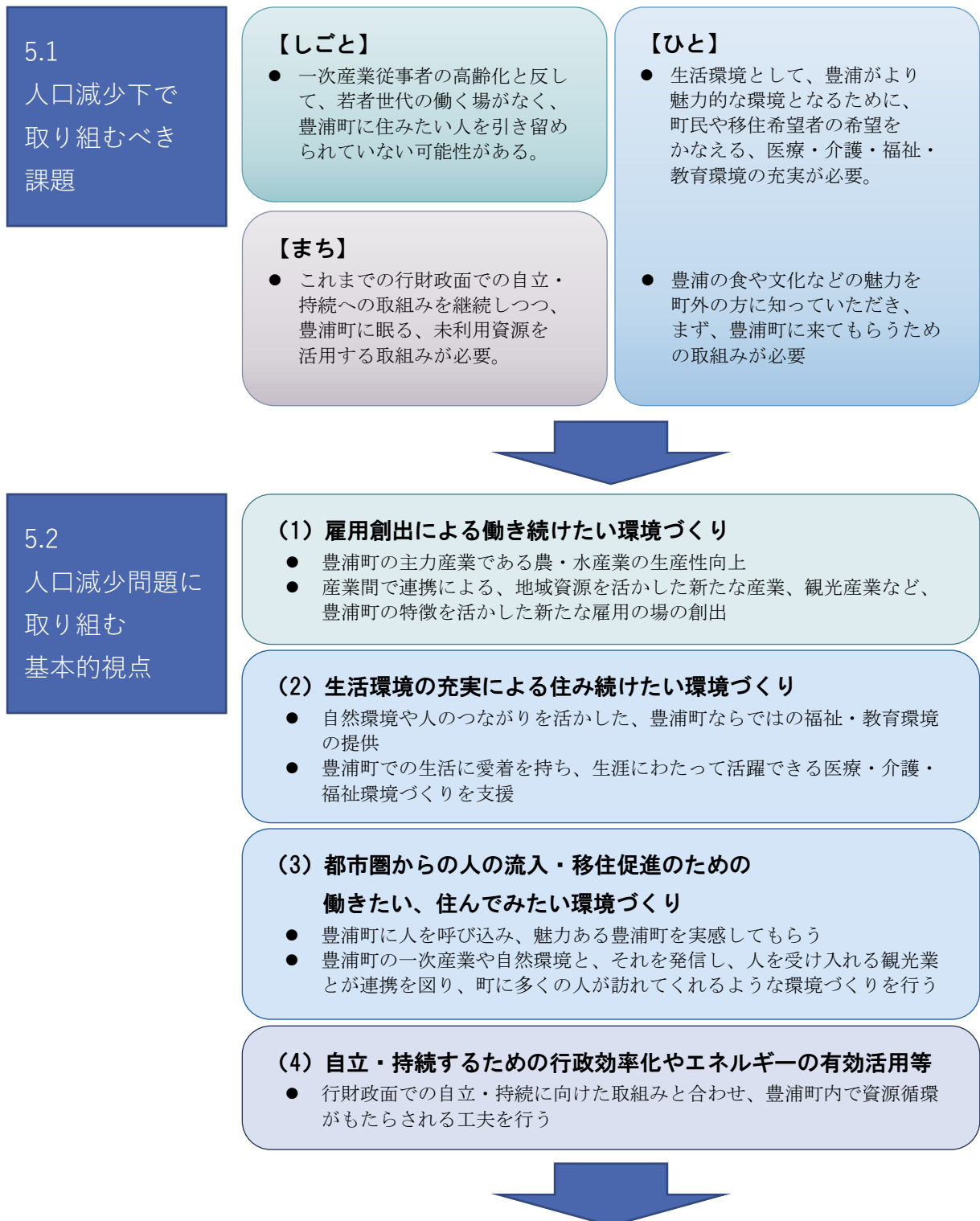
② 豊浦町の弱み

- 希望する就業先の無さが転出を希望する理由であり、就業先として、医療関係や、一般事務関係やサービス業などの職種を希望する方が多い。
- 商店街、観光等の商業面での満足度が低く、買い物の不便さなどが課題。
- 出産・子育ての希望に答えられておらず、希望子ども数を叶える重要な要素として、経済面、幼保の受入環境、子どもの医療面、職場環境に不安がある。
- 高校生の転出意向が高く、進学時に町外に転出してしまう上に、高校生の多くが、将来にわたって豊浦町に住むつもりはないと思っている。町外に出た高校生に、いかに豊浦町に戻ってきてもらうかが課題。
- その他、交通の便の悪さや老後の不安が転出を希望する理由となりうる。

5. 豊浦町人口ビジョン及び総合戦略

人口減少に対しては、豊浦町だからこそできることなどの強みと、状況を分析した弱みを把握し、町民と行政において共通認識を持つことが必要不可欠と考えます。

人口減少問題に対して取り組むべき視点として、豊浦町の「強み」「弱み」を踏まえ、4つの課題を共有し、それを克服するための基本的視点及び基本目標を掲げ、取り組んでいきます。



5.3

基本目標

目指すべき
将来の方向性

【基本目標 1】

一次産業の強化や新たな価値創出により雇用を確保し、誇りを持って、働き続けたいまちづくりを実現する

→ 数値目標：一次産業関連の新規就労者数 — 20人

【基本目標 2】

生活環境の充実により、快適に住み続けたいまちづくりを実現する

→ 数値目標：定住促進事業による転入者数 — 50人

【基本目標 3】

都市圏からの人の流入・移住促進に向けて、働きたい、住んでみたい魅力あるまちづくりを実現する

→ 数値目標：観光入込客数 — 37.2万人 (H26) ⇒40万人

【基本目標 4】

エネルギーの地産地消・循環型地域を目指し、安心して暮らせる自立・持続するまちづくりを実現する

→ エネルギー関連の新規就労者数 — 50人

5.4

本町人口の 将来展望

【合計特殊出生率】

2030年まで=1.80を維持
2030年から=2.10を維持

【社会増減】

転入促進による、転出入均衡

2060年に2,847人

(社人研推計に比べ約1,150人多)

【効果検証の実施 (PDCA サイクルの推進)】

まち・ひと・しごと創生を実現するためには、従来の政策の反省の上に立ち、PDCA サイクルを確立することが必要です。PDCAのプロセスを繰り返し実行していくことで、豊浦町の目指すべき将来の実現を目指します。

【具体的な施策と重要業績評価指標】

- ① 基本目標 1：一次産業の強化や新たな価値創出により雇用を確保し、
誇りを持って、働き続けたいまちづくりを実現する

施策	重要業績評価指標 (KPI)
施策 1：一次産業を活かした名産品開発	● 農業出荷額（ベリー類(いちご、加工品含む)）：60,000 千円/8 年
施策 2：農業に係る生産体制の強化	● 新規就農者数：10 人以上/8 年 ● 自立的な産業連携組織設立：2 組織以上/8 年 ● 新規就農相談件数：10 件/年 ● 産業後継者の結婚：2 組/8 年
施策 3：水産業に係る生産体制の強化	● 漁獲量：8 年間の平均 10,174t（過去 5 年間の漁獲量を維持）
施策 4：経営安定に向けた商品価値向上・販路拡大への支援	● 町内外での販売実績数：4 回/年
施策 5：新しい価値創出・雇用確保に向けたひとづくりと商品開発への支援	● 食品加工事業者等の育成及び支援相談件数：10 件/8 年
施策 6：就業者の育成環境整備	● 新規就農者数：10 人以上/8 年（再掲） ● 新規就農相談件数：10 件/年（再掲） ● 産業後継者の結婚：2 組/8 年（再掲）
施策 7：雇用拡大に寄与する創業・起業化促進への支援	● 新規起業数：10 件/8 年

- ② 基本目標 2：生活環境の充実により、快適に住み続けたいまちづくりを実現する

施策	重要業績評価指標 (KPI)
施策 8：出産・子育てに係る支援	● 給付事業対象者全員への支援の実施
施策 9：豊浦町ならではの教育・生涯学習環境の拡充	● 小中一貫教育における交流学习等：5 回以上/年 ● 小中学校の学習支援員数：全町で 3 名以上 ● 7 体育施設の利用者数：平成 26 年度より 10%増/8 年
施策 10：移住・定住促進のための基盤整備	● 移住体験体験者件数：50 件/8 年 ● 持ち家住宅新築件数：25 戸/8 年 ● 空き家バンク物件契約数：10 件/8 年
施策 11：買物環境の改善	● 地元商品（食品）の購買機会の拡大に関する取組実証の回数：3 回/年
施策 12：防災・減災に向けた地域力の強化	● 自主防災組織の結成：10 自治会以上/8 年

- ③ 基本目標 3：都市圏からの人の流入・移住促進に向けて、
働きたい、住んでみたい魅力あるまちづくりを実現する

施策	重要業績評価指標 (KPI)
施策 13：豊浦町の食を堪能できる観光商品の開発とイベントの開催	● 食の開発数：3 品以上/8 年 ● イベントやメディアを活用した PR：5 回以上/年
施策 14：近隣市町村と連携したオンリーワン観光商品の開発	● 観光客入込数：平成 26 年度より 10%増/8 年
施策 15：豊浦町の魅力発信と満足度の高いサービス提供に向けた観光受入体制の整備	● 新たな体験プログラム数：10 プログラム/8 年 ● 観光客入込数：平成 26 年度より 10%増/8 年（再掲）
施策 16：豊浦ファンの拡大に向けた民泊の促進	● 当町への来校数：5 校/8 年
施策 17：近隣自治体と連携した定住環境の整備	—

- ④ 基本目標 4：エネルギーの地産地消・循環型地域を目指し、安心して暮らせる
自立・持続するまちづくりを実現する

施策	重要業績評価指標 (KPI)
施策 18：再生可能エネルギーの活用	● 再生可能エネルギー利用施設数：1 施設以上/8 年

